

臨床研究に関する公開情報

熊本医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、末尾の「お問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

○研究課題名

「平成28年(2016年)熊本地震における被災地内災害拠点病院の患者状況に関する研究」

○研究の概要

災害医療は災害の規模や種類に応じて対応が様々であります。そのため、今までの研究は過去の災害の事例報告等に留まってしまうことが大半で、統計学的な研究はあまり行われておりません。災害時には、災害時特有の診療体制で多くの患者さんの診療を適切に行うことが大切です。平成28年(2016年)熊本地震において国立病院機構熊本医療センターを受診された患者さんの受診状況を検討し、災害時にどのような医療体制が必要かを検討します。

○研究の目的

災害時には、多数の患者さんが病院を受診します。病院が被災している状況で多数の患者さんの診療を円滑に行うためには、災害時に特化した診療体制が必要です。今回私たちは、平成28年(2016年)熊本地震で国立病院機構熊本医療センターを受診された患者さんのデータを調査して、災害時の医療体制に必要なことは何かを検討します。

○研究の方法と内容

患者さんの年齢、性別、病名、重症度、入院病棟、治療内容、入院期間などを電子カルテから収集します。患者さんの氏名・住所・生年月日など個人を特定する情報は調査しません。データは過去のカルテから調べるだけですので、新たな情報の聴取や採取はありません。

○研究の対象となる患者さん

平成28年(2016年)熊本地震において国立病院機構熊本医療センターを受診された患者さん

○本研究の参加について

本研究に参加することにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○実施期間

研究対象期間：平成28年4月

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和9年3月31日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。データは個人が特定できない形で保存します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○個人情報の取扱い

データは研究用IDを用いて匿名化するため、分析や発表の際に個人は特定されません。また、データは研究代表者によって厳重に管理・保管されます。

○研究の資金源、利益相反について

本研究に関する費用負担および利益相反に関する事項はございません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急科 清水千華子

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急科 清水千華子

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター

部署：救命救急科

担当者：清水千華子

電話番号：096-353-6501